

長崎県内の具体的取組紹介



【団体名】BPW (Business & Professional Women)長崎クラブ

日本 BPW 連合会ホームページ

<http://www.bpw-japan.jp>

【取組の概要】長崎在住の働く女性たちが集まり、女性の地位向上をめざして1986年に結成されました。女性の社会的地位と職業水準の向上や、働く女性の社会環境の改善や整備を目的とする日本BPW連合会に所属して、全国の仲間といっしょに活動しています。SDGsの目標5「ジェンダー平等の実現」は17項目の要だと信じています。

【取組の実際】 月1回の例会では、ジェンダー平等に関する地域に即した課題をとりあげて、議論しています。また、それらの課題解決には、多様なアプローチが必要なので、さまざまな専門家の話を聞いたり、公開イベントを開催したりして、その啓発に努めています。最近の主な活動は以下のとおりです。

① EPD (Equal Pay Day) キャンペーン…男女の賃金格差が見える化したのがEPDです。男性が1年間働いて得た収入と同じ金額を、女性が得るには、さらに4か月以上も長く働かなくてはならない現状があります。(写真① 長崎市浜町アーケードでアピール)

② 世界の国々の男女間の不均衡(格差)を数値化したGGGI (Global Gender Gap Index) 【注1】で、日本は156か国中120位(2021年3月公表)ときわめて低いことを知ってもらうために、アマランスフェスタなどで展示を行い、次回調査時の日本の順位当てクイズなどを実施しています。

③ 政治分野のジェンダー平等を実現するために、公開講演会の実施や、毎年女性議員との意見交換会を行っています。(写真② 2020年9月12日「女性のいない民主主義」の著者・前田健太郎氏の講演会@長崎市立図書館多目的ホール)

④ ジェンダー平等が進まない大きな要因の一つにアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込みや偏見)があります。この解消のための取組の一つとして、様々な働き掛けをしています。

写真①



写真②



【注1】 ジェンダーギャップ指数(GGGI=Global Gender Gap Index):世界経済フォーラム(WEF)が、あらゆる格差が経済発展を妨げるとして、格差の根源にあるとも見られた男女の格差を指数化し、見える化したものを2006年から公表しています。参照 <https://www.bpw-japan.jp/japanese/gggi2015.html>

【メッセージ】

誰もが住みやすい社会とは、誰もが夢や目標をもち、それを実現するための行動を制限されないことです。男性とか、女性とか、年齢などによって阻まれるべきではありません。若い皆さんが、おかしいと思うことに対して、声をあげて、社会を変えていく力になってほしいと考えています。